

ポモネ

pomone 7
2012年 月号 vol.9

祭典と知



まもなくロンドンオリンピック開幕。選手たちの活躍が期待されるのはもちろん、即位60年を迎えたエリザベス女王や世界的ロックスター達が出演する開会式など競技以外の文化的側面も注目されています。

当館でも、五輪金メダリストを招いた講演会、戦後からオリンピック開催までの東京の復興を綴った写真展、イギリス文学を特集した図書展示などを行います。東京が2020年オリンピック招致に名乗りを上げている今、努力を積み重ねた人の生き方や、都市と経済の関係性など、様々な視点から五輪観戦してみたいかがでしょうか。

※画像詳細は折り返し面「特別研究室ミニ通信」で紹介しています。

contents

特別展示室・レストラン・ショップ&カフェのご案内・特別研究室ミニ通信
日比谷カレッジ今月の講座
図書フロアのご案内

図書フロア

現在行っている展示内容をご案内します。興味深い本が発見できるかもしれません。

2F ORANGE ZONE
オレンジゾーン - ビジネスとキャリアアップ -

- メイン展示 『図書館でビジネス情報を探す-EU編-』
- セクション展示 『ワーク・ライフ・バランス』『データベース・ジャパンレッジ』

2F PURPLE ZONE
パープルゾーン - 千代田、まちと歴史 -

- メイン展示 『暑い夏を涼しく過ごす』
- セクション展示 『関連本ピックアップ 東京—その復興の歴史』『EAST TOKYO さんぽ』『江戸切絵展示』『東京名所写真』

3F GREEN ZONE
グリーンゾーン - 現代に生きるための情報 -

- メイン展示 『大人の自由研究』『動き始めるなら今! スポーツで身体を動かして健康生活』
- セクション展示 『世界のミステリー-「怪談」』

3F BLUE ZONE
ブルーゾーン - 創造(アート・文学-ひと) -

- アート情報 支援コーナー 『北欧の豊かな暮らしを彩るデンマークとスウェーデンの糸と布の世界』(〜7/12) 『益子のクリエイターが作る「本の空間」』(7/16〜)
- メイン展示 『「ちよカル」ちよだカルチャーガイド AREA1: 麹町・丸の内・皇居外苑エリア』
- セクション展示 『1812⇔2012: デイクensとロンドンの200年』『LiteraryAward Part4. 一休とんち大賞/Part5. ブッカー賞』

calendar 開館時間: 平日10時〜22時、土曜10時〜19時、日祝10時〜17時 □休館日

2012年 7月							2012年 8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

access
都営地下鉄 ●三田線
「内幸町」徒歩3分
東京メトロ ●千代田線 ●日比谷線
●丸の内線
「霞ヶ関」徒歩5分
JR「新橋」徒歩10分
駐車場: 当施設に駐車場はございません。
※日比谷公園内「日比谷駐車場」をご利用ください。

千代田区立
日比谷図書文化館
Hibiya Library & Museum

■お問合せ先: 日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL: 代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343
<http://hibiyal.jp>

■特別展示室 ■平成24年度文化財企画展
「東京—その復興の歴史」

今や、世界中からの人々や情報であふれかえるまち、東京。その歴史は、関東大震災や空襲などによる戦災からの復興の歴史でもありました。本展示では、写真パネルから私たちの暮らす東京のまちの歴史を振り返っていきます。

日時: 7月17日(火)〜9月2日(日) 10:00〜18:00(日・祝日は〜17:00)
会場: 1階特別展示室 入場無料

関連講演会 「占領期の東京—都市空間を写真から読む—」
日時: 8月5日(日) 14:00〜(13:30より受付) 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
講師: 佐藤 洋一(早稲田大学社会科学総合学術院教授) 定員: 150名 参加費: 200円
参加申込方法: 文化財事務局宛に「8月5日講座申込」と題して電話(03-3502-3348)
またはEメール(rekimin@vesta.ocn.ne.jp)にて、お名前(ふりがな)、ご連絡先電話番号をご連絡ください。7月5日受付開始。

■図書フロア ブルーゾーン 展示ピックアップ情報
1812⇔2012: デイクensとロンドンの200年

英国の文豪チャールズ・ディケンズの生誕200年を記念し、オリンピックに沸く現代のロンドンと『クリスマス・キャロル』(1843年)他、ディケンズが描いたヴィクトリア朝時代のロンドンを対比させて展示します。

地下1階レストラン
Library Dining HIBIYA

夏のランチプレート ドライカレー(スープ付) ¥850
(販売中〜8月31日まで) ※写真はイメージです。
茄子をたっぷり使用した夏らしいドライカレーを期間限定で販売します。1日30皿限定なのでお早めどうぞ。
※レストランでは図書フロアの書籍を持ち込んで読書をお楽しみいただけます(貸出手続き不要)

▶1階ショップ&カフェのご紹介
Library Shop&Café Hibiya

書籍、雑誌、文具の販売を行うショップでは、神田神保町に看板を構える個性的な出版社の特集をスタートしました。第一弾は平凡社・富山房・富山房インターナショナル・美術出版の4社です。各社の歴史と矜持をお伝えます。(好評を頂いておりました「作家書店」の棚は終了いたしました) 営業時間: 平日 11:00〜19:00、土日・祝日 11:00〜17:00

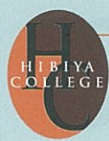
特別研究室 ミニ通信

「日本初参加! 100年前のオリンピック」1912ストックホルム五輪
Albert Shaw編『The American Monthly Review of Reviews 46』
(The Review of Reviews Co. 1912年) 4階特別研究室蔵

日本が初めてオリンピックに参加したのは、ちょうど100年前の第5回ストックホルム大会です。その時は、嘉納治五郎が団長となり、金栗四三、三島弥彦の二選手が参加しました。唯一「NIPPON」のプラカードが登場したことも有名です。この写真は、その当時のメインスタジアムの様子です。

「江戸明治の能楽がわかる図書展示」解説セミナー
日時: 7月4日(水)・11日(水)・21日(土) 15:00〜16:00
会場: 4階特別研究室 定員: 10名(先着順) 参加料: 300円

▶ナイトセミナー ~本当は教えたくない私の発掘本~ 定期開催中
日時: 毎週木曜日18:30〜20:00 会場: 4階 特別研究室 定員: 20名(先着順) 参加無料
※お問合せ&申込は特別研究室まで



日比谷カレッジ

[2012年7・8月の講座]

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

参加申込:電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

7/15 (木) オリピックイヤー特別企画 オリピックの金メダリストに学ぶ! (全3回) 第2回「キング・オブ・スキーと呼ばれた男」

冬季五輪/ノルディック複合団体戦で92年と94年の2大会連続でチームを優勝に導いた荻原健司氏を迎え、10年間世界のトップで戦った経験とその裏の葛藤や苦悩、輝く日の丸を描いたり国旗を掲げてオリピックを明るくした取り組み、チャレンジする精神の大切さなどをお伺いします。(主催:財団法人上廣倫理財団)



日時:7月5日(木)18:30~20:30(18:00より受付)
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
出演:荻原 健司(ノルディック複合団体 金メダリスト)、吉井妙子(スポーツジャーナリスト)定員:200名 参加料:500円(千代田区民は無料)
【次回予告】8月23日(木) 第3回「水泳人生」
ゲスト:岩崎 恭子(リレセロナ五輪競泳 金メダリスト)
詳細は次号ポモースまたはウェブサイトをご覧ください。

7/15 (木) 江戸歴史講座 第10回 出光美術館展覧会連携企画 祭 MATSURI -遊楽・祭礼・名所

江戸時代、祭を楽しむ群衆の姿が生き生きと描かれた祭礼図や遊楽図が盛行しました。そこには特定の「場」が人々の信仰を支え、また祭の行事が「場」を育んできた名所絵としての性格も見られます。描かれた群衆の姿や「場」に注目し、祭礼図・遊楽図の新たな魅力を探ります。

日時:7月5日(木)19:00~20:30(18:30より受付) 会場:4階 スタジオプラス (小ホール)
講師:出光 佐千子(出光美術館学芸員) 定員:60名 参加料:1000円(千代田区民500円)

7/17 (土) 北欧の手仕事のお話と爽やかな夏のワークショップ (アート情報支援コーナー関連講座) 第1回北欧ファッションの刺繍とワンポイント刺繍講座

北欧の手工芸を初心者の方も楽しめるワークショップシリーズ。第1回は欧州の衣装史における刺繍の役割を古い書籍等からご紹介し、アイスクリームのイラストをTシャツに刺繍します。

日時:7月7日(土)14:00~16:00(13:30より受付)
会場:4階 スタジオプラス (小ホール)
講師:西澤 文子(ヤマナシ・ヘムスロイド) 定員:15名 参加料:各回3000円(材料費込)
※Tシャツの色は白・サイズは男女兼用のSからMからお選びください。

7/18 (日) 第2回デンマーク花糸物語とタッセル作り講座

野の草花の刺繍家ゲルダ・ベングトソンが命名した花糸をご紹介します。それを使用してタッセルを作成します。タッセルの色はピンク・ブルー・グリーンの3色からお選び頂けます。本場の良質な素材を使って手作りしましょう。

日時:7月8日(日)14:00~16:00(13:30より受付) 会場:4階 スタジオプラス (小ホール)
講師:東野 充子(ヤマナシ・ヘムスロイド) 定員:15名 参加料:各回3000円(材料費込)

7/12 (木) ほか できるグローバルビジネスパーソンになるための財務塾 「バフェットの投資哲学」で財務と英語を同時に学ぼう!

偉大なる投資家でもあるウォーレン・バフェットのエッセーで財務を学びます。第1回はパークシャー・ハザウェイ社の「株主マニュアル」からバフェットの15の経営哲学と内在価値について学習します。第2回は1977年から続く「バフェットからの手紙」の2011年版を重要な部分にスポットを当てて紹介します。

日時:7月12日(木)第1回「株主マニュアル」を読む
7月26日(木)第2回 2011年の「バフェットからの手紙」を読む
いずれも19:00~20:30 (18:30より受付) 会場:4階 スタジオプラス (小ホール)
講師:手島 直樹(経営コンサルタント・インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)
定員:40名 参加料:2回分 3000円

GLOBAL BUSINESS PERSON

7/19 (木) 現役世代のための今から出来る親の介護対策 ~ワークライフバランス実践講座~(全2回) 第2回 ワークライフバランス実現のためのヒント

これから迎える少子高齢化の大介護時代は、キャリア設計だけでなく、私生活の人生設計が重要です。親の介護を中心に起こりうる様々な問題を想定し、ワークライフバランスの視点からその対策と一緒に考えます。

日時:7月19日(木)18:30~20:30(18:00より受付) 会場:4階セミナールームA
講師:深堀 雅史(株式会社ワーク・ライフバランス コンサルタント)
定員:24名 参加料:500円

7/21 (土) 人生を主体的に生きていくための、クリティカル・シンキング

クリティカル・シンキングとは「物事をじっくりと主体的に考えるための思考法」です。主体的に日常を生きていくためにどのような「考え方」をすればいいのか、考えることが自信や思いやりにつながるのなぜか、ディスカッションを交えて明らかにしていきます。(主催:NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

日時:7月21日(土)14:00~16:30(13:30より受付) 会場:4階 スタジオプラス (小ホール)
講師:狩野 みき(慶應義塾大学講師) 定員:60名 参加料:3000円

7/22 (日) ほか 第9回江戸ソバリエ認定講座

「江戸ソバリエ」は江戸蕎麦の通人を表す民間の資格で、耳学(座学)、手学(蕎麦打ち)、舌学(食べ歩き)、脳学(考える)からなる総合講座を受講し、一定の成績を収めると認定されます。日本の食文化に関心のある方は是非チャレンジください。(主催:江戸ソバリエ協会)

日時:7月22日(日)10:20~16:40、8月12日(日)10:20~16:40
※手学は7月29日(日)または8月4日(土)に千代田区立スポーツセンターで行います。
会場:4階 スタジオプラス (小ホール) 講師:江戸ソバリエ協会講師 定員:60名
参加料:25,000円(材料費、認定料込)
申込方法:7月13日(金)までに江戸ソバリエ協会宛にメール(toiwase@edosobalier-kyokai.jp) 又はハガキ(〒112-0012 文京区大塚6-2-5-106)でお申込みください

7/26 (木) 第4回 千代田区ビジネス大賞特別賞受賞賞勝本店に聞く 割り箸から見えてくるニッポンの森林事情

明治43年創業の割り箸専門店「賞勝本店」。箸を使う日本人の食文化、環境問題や森林事情を、「割り箸」視点でお話し頂けます。参加者全員でテーマについて共に考える参加型講義で、夏休みの研究にもおすすめです。

日時:7月26日(木)14:00~15:00(13:30より受付)
会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 講師:宮本 敬治(株式会社賞勝本店 専務取締役)
定員:45名 参加料:一般1300円、千代田区民500円、高校生以下無料

7/27 (金) 第4回千代田区民講座 終戦から67年、戦争はまだ終わっていない。

従軍した元日本兵は80~90歳代を迎えています。戦争で被害を受けたフィリピン人と元日本兵約130名に取材した経験をもとに、現在の彼らの胸中をお話いただけます。

日時:7月27日(金)19:00~20:30(18:30より受付) 会場:4階 スタジオプラス
講師:神 直子(NPO法人ブリッジ・フォー・ピース代表理事) 定員:60名 参加料:無料

7/31 (火) 国賓・皇室・首相のフライトを務めた元CAが教える「選ばれる人」になる心くばり

『空のもてなしから学んだ 世界に誇れる日本人の心くばりの習慣34』の著者が、VIP乗務に選ばれた経験や見聞きした事例をもとに、「あなたしかない」と選ばれる人になるために大切な心くばりについてお話しします。ワークショップも交え、信頼関係を深める秘訣をご紹介します。

日時:7月31日(火)19:00~20:30(18:30受付開始) 会場:4階 スタジオプラス
講師:三枝 理枝子(元全日空チーフパーサー、作家) 定員:60名 参加費:1000円

8/2 (木) ブックダイアログ 第2回~本から愛を考えよう~

『恋に溺れて女になる』を発行した山口路子氏を迎え、ピアフ、シャネル、ポーヴォワール、与謝野晶子...激しい恋に生きた女性たちの恋愛哲学や、執筆の背景などここだけのお話を伺い、著者と交えた対話を展開します。※可能であれば『恋に溺れて女になる』を事前にお読みになってご参加ください。



日時:8月2日(木)19:00~21:00(18:45受付開始) 会場:1階 ショップ&カフェ
出演:山口 路子(作家)、西村 勇也(NPOミラック代表理事/ダイアログBar代表)
定員:30名 参加費:2300円(茶菓込)

8/3 (金) iPadで学ぶデータベース講座「ジャパンナレッジ」検索セミナー 「知識探索データベースの有効活用法」

各種事典・辞典や「イミダス」「会社四季報」など、幅広い情報を網羅するデータベース「ジャパンナレッジ」の特徴と操作方法を、インターネットの無料情報との比較やビジネスシーンでの活用アドバイスなどを交えてご説明します。

日時:8月3日(金)18:30~19:30(18:00より受付)
会場:2階 図書フロア・カウンター前
講師:山本 京子(株式会社ネットアドバンス) 定員:10名 参加無料

追悼 新藤兼人監督を偲ぶ映画祭

今年5月29日、享年100歳で亡くなられた広島県出身の新藤兼人監督の偉大な功績を偲び、監督が60年以上にわたり作品を通して描き続けてきた「ヒロシマ」をメインテーマに、映画上映を行います。連動企画として写真展も開催します。(主催:オフィスパンタレイ)

8月6日(月)・8日(水)	8月7日(火)
10:30~ 「一枚のハガキ」(114分)	
14:00~ 「一枚のハガキ」(114分)	14:30~ 「ある映画監督の生涯 溝口健二の記録」(150分)
17:00~ 「原爆の子」(100分)	19:00~ 「午後の遺言状」(112分)

※各回映画解説付き 立花 珠樹(共同通信社編集委員)
会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
定員:各回200名 参加費:各回事前予約1,000円・当日1,500円
※お申し込み時に、希望日時と作品名をお伝えください。
連動企画写真展「1945、ヒロシマから現代の子どもたちへ」
期間:2012年8月1日(水)~9日(木) 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) 入場無料

